

最初のお話をします。

私は、子供の頃から音楽が好きでした。そういうこともありまして、将来は音楽の道に進みたいというふうに思っていました。しかし、現実はなかなか厳しいものがありました、プロの道は諦めてしまいました。大人になった今は、会社で働きながら音楽を楽しんでいます。プロにはなれなかつたにしても、好きなことを続けられるというのは、とてもすてきなことだと思います。

さて、ここで、子供たちが将来なりたい職業について調べたアンケートを紹介してみたいと思います。

その結果によりますと、小学生がなりたいと思っている職業の第一位は、女子の場合ですと、お菓子屋さんということでありました。男子のケースを見てみると、プロのスポーツ選手ということでありました。一方で、高校生の回答について見てみると、学校の先生が第一位でありました。それから、医師や薬剤師などの医療関係でありますとか、IT関連の職業が上位に入りました。また、公務員や会社員といった堅実な職種が選ばれています。自分の進路を進ぶ時期が近づいてきますと、現実的な職業に関心が向かっている様子がうかがえます。

また、同じアンケートでは、十年前との比較も掲載されていました。それを見てみると、

最新の結果には、十年前のランキングに入っています。いかつたような職業があります。例えば、動画の配信とか、あるいはまた、デジタル技術を使つた分野などに関心が集まっているようあります。

こういったことから、子供たちのなりたい職業というものは、その時代の流行でありますとか、社会情勢などが大きく反映されているということがよく分かりました。

ところで、学生の皆さんには、大人になつたらどのような仕事をしたいと思つていますか。なりたいものがあるという人は、それに向かつて頑張つてほしいと思います。もちろん、成長して経験を積んでいく中で、なりたいものが変わつていくのも当然のことであります。中には、なりたい職業や将来の夢が見つからないという人もいるかもしれません。しかし、それで焦る必要はありません。自分がなりたいと思えるものに、これから出会うかもしれないからであります。

編み物の起源はとても古くて、はつきりとしたことは分かつていらない部分が多いようであります。しかし、石器時代から作られていました。それは一本の糸を使って作られた網のようなものであります。そういうことから、糸や縄を編む技術は古くから存在していましたというふうに考えられています。日本でも、縄文時代の土器などからその痕跡が見つかっています。やがて、様々な素材や技法を用いまして、生活に役立つものが作られるようになつていきました。そして、これらが産業として発達しながらいろいろな国に伝わつていく中で、日本にもやつてきたというわけであります。

さて、人気が広がつてきている編み物の世界であります。注目されているのが癒やし効果ということであります。どういうことかとい

次のテーマに入ります。

ここ最近であります。若い人たちの間ではやつていることがあります。それは何かといいますと、編み物であります。芸能人でありますとか有名人がインターネットで作品を公開しまして、その影響で人気が広がつてきているのであります。今日は、このことについてお話をしたいと思います。

まず、編み物の歴史について触れてみたいと思います。

編み物の起源はとても古くて、はつきりとしたことは分かつていらない部分が多いようであります。しかし、石器時代から作られていました。それは一本の糸を使って作られた網のようなものであります。そういうことから、糸や縄を編む技術は古くから存在していましたといふふうに考えられています。日本でも、縄文時代の土器などからその痕跡が見つかっています。やがて、様々な素材や技法を用いまして、生活に役立つものが作られるようになつていきました。そして、これらが産業として発達しながらいろいろな国に伝わつていく中で、日本にもやつてきたというわけであります。

ますと、同じ作業を繰り返すことでリラックスできるというのであります。確かに、編み物をしていますと、知らず知らずのうちに時間がたつていることがあります。一つのことに集中することで、気持ちがリフレッシュするのであります。これは、科学的にも証明されているようであります。

また、編み物は手軽な創作活動であります。物を作るときの楽しみがあります。作品が出来上がったときの達成感もあります。さらに、これは世界に一つだけの作品であります。お金で

は買えない価値がありますし、大切に使おうといふ気持ちにもなります。

今の時代は、機械化によつて様々なものが大量に作られるようになりました。しかも、簡単に安く手に入るので、なかなか自分で編み物をしてしまうと思うことがなくなつてしましました。とはいゝ、今述べたような理由で編み物が見直されているのであります。私も、これをきっかけに編み物を始めてみようと思いました。これからますます寒くなつてくる季節であります。皆さんも編み物の世界を楽しんでみてはいかがでしようか。

最後に、私がテレビで見た、ある行事についてお話をします。

それは、今年の初めのことでありまして、天皇陛下が招いた人たちとともに和歌を披露して

いるものであります。これは、宮中で行われる行事の一つなのですが、毎年テレビで放送されています。私は、この行事にとても興味を持ちました。

まず、そもそもこの行事がいつから始まつたのかということですが、はつきりとは分からぬようであります。しかし、少なくとも鎌倉時代には行われていた記録があるというふうに言われています。

次に、この行事の流れについて述べてみたいと思います。

その披露の仕方でありますが、独特であります。まず、初めの一人が和歌をゆづくりと区切りながら詠みます。そのとき、語尾を伸ばして詠むのが流儀となつてゐるようであります。そして、二番目の人が節をつけて歌うように詠んでいきます。さらに、別の人たちがそれに合わせて詠んでいきます。一つの和歌を二回詠みましたら、次の和歌に移ります。このように進んでいきます。テレビでは、一つ一つの和歌について解説がされまして、とても分かりやすいものとなつてゐます。

これまでいろいろと述べてまいりましたが、皆さんの感想はいかがでしたか。この行事が気になりませんか。まだよく分からぬといふ人も、一度御覧になつてみてはいかがでしようか。和歌の情景などが思い描かることでしよう。これをきっかけに、自らの体験を和歌にしてみたくなるかもしません。(了)

ところで、これに私たちも参加できるというのは御存じですか。この行事は、長らく宮中の限られた人だけで行われていたのであります、ました。そして、そのお題に沿つた和歌を募集

しています。しかも、これは外国にも募集しているようであります。これに私たちも応募することができるというわけであります。

この応募について、いろいろな決まり事があります。例えば、応募でくるのは未発表のものだけであります。そして、一人一作品に限るという条件があります。また、原則として書道半紙に毛筆で書くというような指定もあるようであります。

応募した作品が選ばれると、宮中に招待されます。選ばれたことがある人の中には、中学生や高校生もいるということであります。また外国人が選ばれたこともあるようであります。

今年のお題は「夢」であります。外国からのものも含めて、一万六千余りの応募があつたということがあります。

これまでいろいろと述べてまいりましたが、皆さんの感想はいかがでしたか。この行事が気になりませんか。まだよく分からぬといふ人も、一度御覧になつてみてはいかがでしようか。和歌の情景などが思い描かることでしよう。これをきっかけに、自らの体験を和歌にしてみたくなるかもしません。(了)